

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	136	グループウェアシステム管理経費	01	01	一般会計
基本施策	52	高度情報化に対応した地域と市役所をつくる	02	02	総務費
担当部課名		企画振興部 情報政策課	09	01	総務管理費
作成者氏名	竹本 昇	連絡先	104	09	情報化推進費
		22-9625	細目	104	事務管理経費
			細々目	02	グループウェアシステム管理経費

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
対象等(何を、誰を) ・対象業務(何を)＝ネットワーク機能を利用して、メール・スケジュール管理・施設予約などのグループウェアシステムで職員間の事務連絡、情報交換、データの送受信を行うが、そのグループウェアシステムの安定稼働を図る業務。 ・直接の対象(誰を)＝全職員 ・最終的な対象(誰を)＝全市民	業務の迅速で効率的な処理を可能にします。
本年度事業内容 旧上野市や旧阿山町で使用していた情報系パソコンを更新します。	
開始年度 平成 17 年度 終了年度 平成 年度	根拠法令・要綱等 高度情報通信ネットワーク社会形成基本法

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	2	2	2
人件費合計(A)	14,400	14,400	14,400
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	54,878	66,160	48,821
委託料	24,554	34,128	23,618
使用料及び賃借料	30,324	31,771	25,203
通信線工事費			
その他		261	
合計(A+B)	69,278	80,560	63,221
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	69,278	80,560	63,221
上記①～③に関する特記事項	19年度機器保守は、半年間無償		

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
グループウェア導入パソコン数	台	894	894	900			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H18	H19(目標)	H20(目標)
グループウェア・システムの安定稼働日数/365日	一年365日を分母とし、グループウェア・システムの安定稼働日数を分子として、安定稼働率を成果の指標としました。	%	100 目標 (100)	100	100
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

合併後、グループウェアシステムに対する職員全体のスキルアップを図るため、ヘルプデスク業務を実施しました。
--

評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	4	4	4	4	A
今日、情報伝達の便宜なツールとしてのメールを大いに活用し、業務の迅速化を図っていきます。また、スケジュール管理や施設予約システムの活用によって、効率的な業務を行っていきます。					